

# 国道365号栃ノ木峠道路における現道の課題

委員会資料(概要)

- R4年8月の大雨、R5年1月の大雪では、北陸道・国道8号等が通行止となり、ネットワークが分断
- 安定した交通の確保（冬期通行止の解消、幅員狭小・線形不良の解消）が喫緊の広域課題

## 北陸と関西・中京を結ぶリダンダンシーの早期確保

- ・北陸道と国道8号は近接し、異常気象時にたびたび同時通行止が発生

(福井・滋賀県境付近：過去10年間に7回同時通行止)

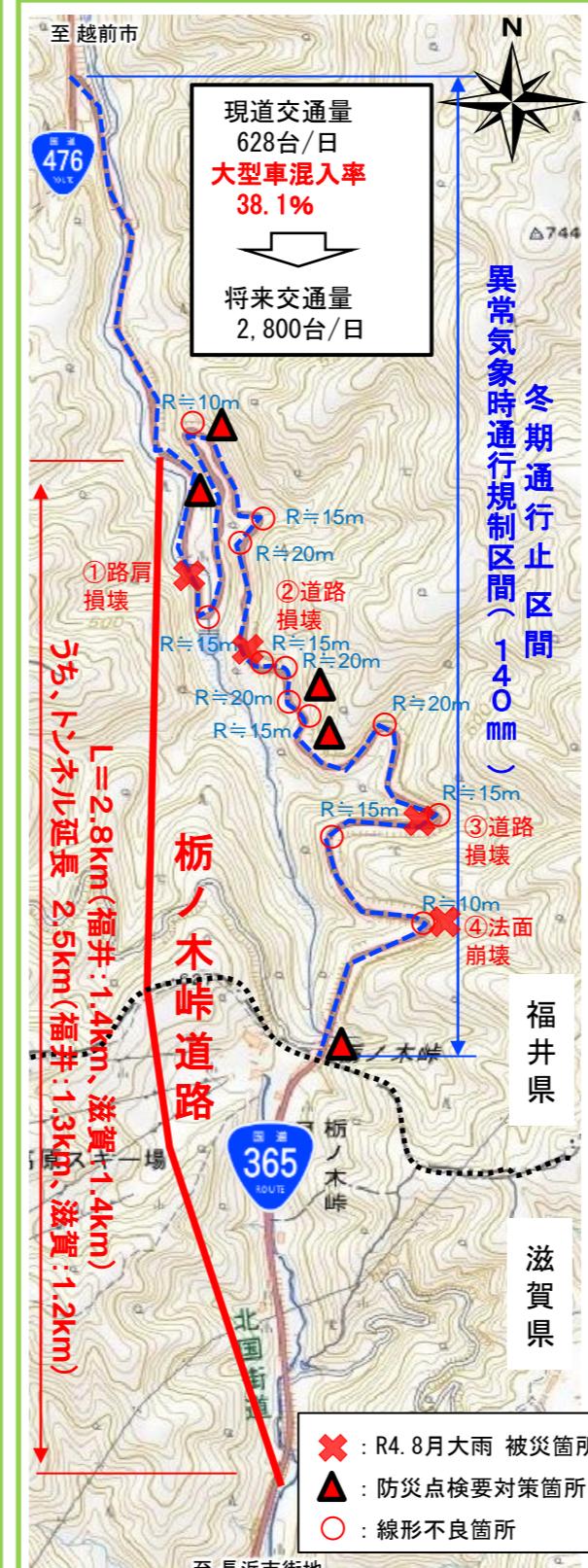


令和4年8月大雨時通行止  
 ・北陸道は下りの交通開放に22日要した。  
 ・国道365号の県境部以外の通行止は4日で解消したが、県境部での法面崩壊等の被害を受け、県境ネットワーク・代替路としての機能が発揮できなかった。

→国道365号が復旧した際、  
 栃ノ木峠道路があれば、早期にネットワークが確保できていた

【北陸自動車道・国道8号の同時通行止（福井・滋賀県境付近）】

事象	区間	期間	時間
① R6.1 大雪	北陸道 上下 武生IC～敦賀IC	R6.1.24	約18時間
	R8号 越前市～長浜市間		
	R365号 南越前町～敦賀市間		
② R5.1 大雪	北陸道 上下 武生IC～米原IC	R5.1.24	6.5時間
	R8号 越前市～敦賀市間		
	R365号 越前市～敦賀市間		
③ R5.1 大雪	北陸道 上下 木ノ本IC～敦賀IC	R5.1.28～29	8時間
	R8号 敦賀市～高島市間		
	R365号 南越前町～敦賀市間		
④ R5.1 大雪	北陸道 上下 武生IC～木ノ本IC	R5.1.30	最大11時間
	R8号 越前市～敦賀市間		
	R365号 南越前町～敦賀市間		
⑤ R4.8 土砂流出	北陸道 上り 今庄IC～敦賀IC	R4.8.5～10	115時間
	下り 敦賀IC～今庄IC		
	R8号 越前市～敦賀市間		
⑥ H30.7 大雨	北陸道 上り 敦賀IC～木ノ本IC	H30.7.5～7	34時間
	下り 木ノ本IC～敦賀IC		
	R8号 敦賀市～長浜市間		
⑦ H27.2 大雪	北陸道 上り 武生IC～木ノ本IC	H27.2.9～10	15時間
	下り 木ノ本IC～武生IC		
	R8号 越前市～敦賀市間		



## 現道上の課題

### ◇異常気象時事前通行規制区間

- ・連続雨量140mmで通行止め (H30～R4で3回通行止)

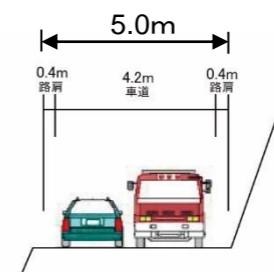
### ◇冬期通行止

- ・約5カ月/年 (11月下旬～4月下旬)



### ◇大型車のすれ違い困難

- ・幅員狭小
- ・線形不良が全線で存在



### ◇防災対策箇所

- ・防災点検要対策箇所が5箇所存在

<A021 斜面状況>

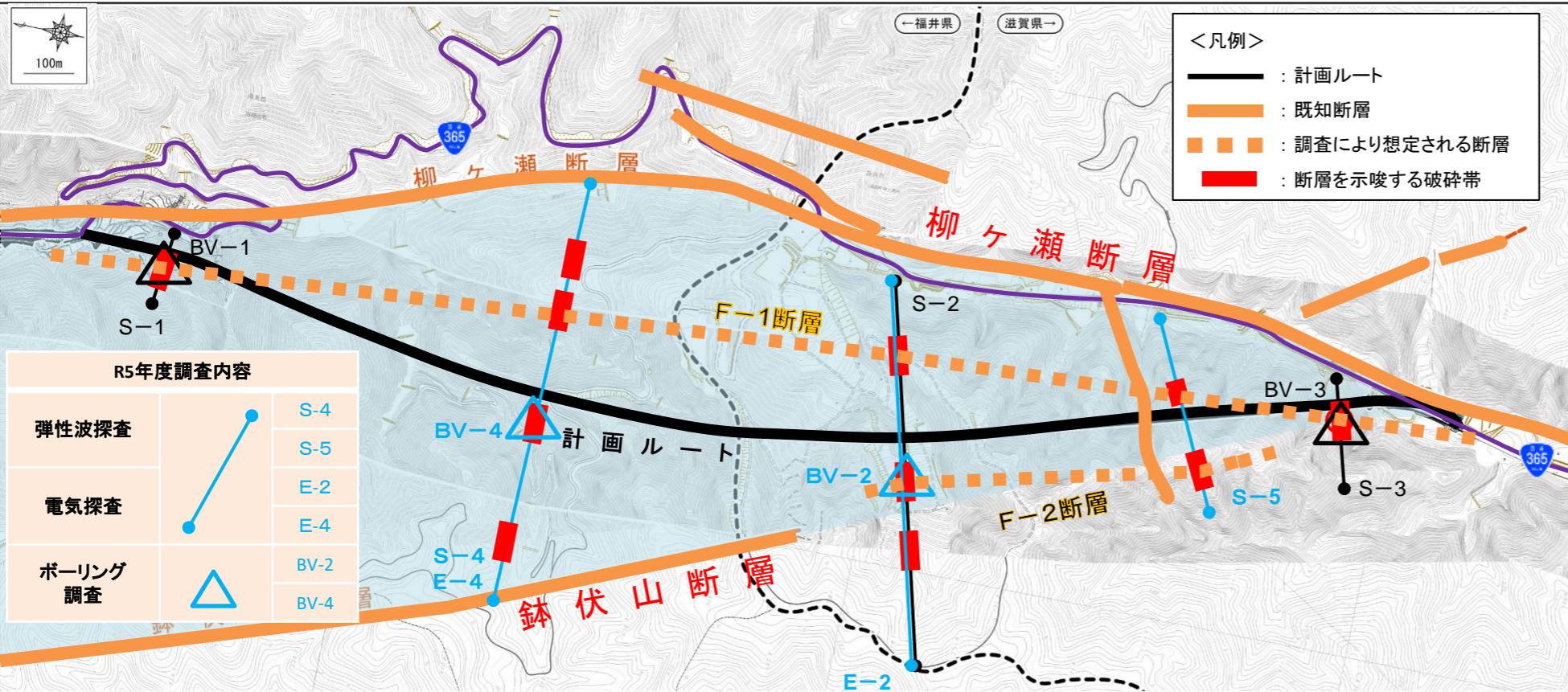
転石状況

崩壊跡地の状況(オーバーハング)



- ✖ : R4.8月大雨 被災箇所
- ▲ : 防災点検要対策箇所
- : 線形不良箇所

### 1.地質概要



### 2.近傍工事実績



2 【北陸新幹線 新北陸トンネル】  
2022年竣工



<発生事象>

- ・異常出水5.0m<sup>3</sup>/min
- ・掘削面の崩壊
- ・掘削作業停止3週間
- ・排水対策4か月

<対策工>

- ・調査: 前方探査
- ・水対策: 水抜きボーリング
- ・補助工法: 長尺鋼管先受け工
- 長尺鏡ボルト

### 3.第1回技術検討委員会結果 (R5.3.9 学識者意見: 福井大学 荒井名誉教授、山本教授)

#### <課題①> 断層の影響を避けることはできず、掘削面の崩壊の恐れ

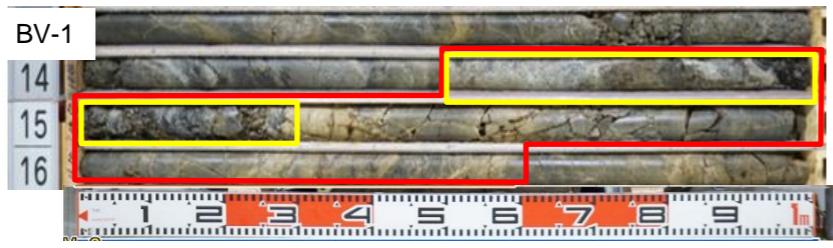
- ・想定される断層は、計画ルートと交差

#### <課題②> 断層に囲まれルート全域で掘削面の崩壊や異常出水の可能性

- ・柳ヶ瀬断層と鉢伏山断層に囲まれる範囲は、どこに断層破砕帯があってもおかしくはない程、脆弱で複雑な地質構造

ボーリング調査結果  
(亀裂・破砕状況)

- : 強破砕部
- : 粘土化



### 4.令和5年度の地質調査結果(有識者 技術相談結果)

○計画ルートへの断層の影響について調査を実施し、ルートの妥当性確認

#### ⇒計画ルート、両県坑口位置については妥当

- ・活断層である柳ヶ瀬断層とは交差しておらず、防災上の課題箇所等を極力回避する計画

#### ⇒本トンネルの建設における技術的難易度は高い

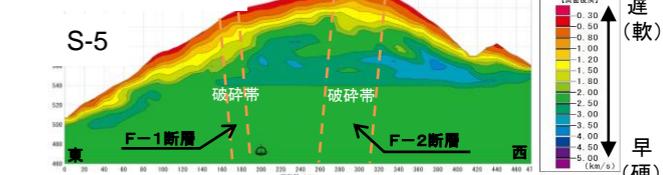
- ・F-1、F-2断層、破砕帯を避けることは困難
- ・突発湧水や脆弱な地山などにより技術的な難易度は高い

ボーリング調査結果(亀裂・破砕状況)

- : 強破砕部
- : 粘土化



弾性波探査結果



### 技術的課題

- 県境をまたぐトンネル計画において、脆弱な地質により技術的課題が多く、難工事が想定
- 施工にあたっては、高度な技術力や迅速かつ的確な判断などの施工管理能力が必要